

協会けんぽの 2023(令和 5) 年度決算見込み(医療分)について

<協会会計と国の特別会計との合算ベース>

令和 6 年 7 月 5 日
全国健康保険協会

<全体の収支状況>

- 2023 年度は収入(総額)が 11 兆 6,104 億円、支出(総額)が 11 兆 1,442 億円、収支差は 4,662 億円で前年度から 343 億円の増加

<収入の状況>

- 収入(総額)は前年度から 3,011 億円増加
- 保険料収入は 2,577 億円増加。賃金(賞与含む。)の増加が主な要因であり、標準報酬月額伸びは前年度比+2.0%(制度改正の影響※を除くと+1.5%)。

※ 2022 年 10 月実施の下記制度改正により報酬水準の低い被保険者が減少した影響で、平均標準報酬月額が上振れ

- ・従業員 100 人超規模の事業所の短時間労働者及び土業の事業所に勤務する者に被用者保険を適用(協会けんぽに新たに加入 +24 万人)
- ・厚生年金・健康保険の適用対象であった国・自治体等で勤務する短時間労働者に公務員共済の短期給付を適用(協会けんぽから公務員共済へ移行 ▲94 万人)

<支出の状況>

- 支出(総額)は前年度から 2,668 億円増加
- 保険給付費は 1,993 億円増加。加入者数は 1.1%減少したものの、加入者 1 人当たり医療給付費が増加(+4.1%)したことが主な要因。
- 拠出金等は 1,358 億円増加。後期高齢者支援金の増加が主な要因。
- その他の支出は 683 億円減少。前年度に交付された国庫補助の精算等による国への返還が生じなかったことが主な要因。

<本決算のポイント>

- 保険料収入等による収入の増加(前年度比+3,011 億円)が保険給付費や後期高齢者支援金等による支出の増加(同+2,668 億円)を上回ったことにより、単年度収支差は前年度比で増加(+343 億円)しているが、これは前年度の国庫補助の精算等が影響(その他の支出が前年度比 683 億円の減など)

注) 国庫補助の精算額の増減により 2023 年度の収支差は前年度対比 793 億円プラス方向へ底上げ(2022 年度決算:674 億円の支出(返還)、2023 年度決算:119 億円の収入(追加交付))

- 2023 年度の収支は、収入・支出ともに前年度より増加しているが、主たる収入である「保険料収入+国庫補助等」は 2,995 億円(2,577+418)の増加、主たる支出である「保険給付費+拠出金等」は 3,351 億円(1,993+1,358)の増加であり、支出の方が収入よりも伸びている。そのため、単年度収支差は、実質的には前年度より縮小している。
- 協会けんぽの今後の財政については、団塊の世代が後期高齢者になることにより後期高齢者支援金の短期的な急増が見込まれ(2023 年度:2 兆 1,900 億円→2025 年度:2 兆 5,300 億円)、その後も中長期的に高い負担額で推移することが見込まれること、協会けんぽ加入者の平均年齢上昇や医療の高度化等により保険給付費の継続的な増加が見込まれる(2023 年度:7 兆 1,512 億円→2028 年度:7 兆 6,600 億円)こと等により楽観を許さない状況。
(→参考資料 P19、24 参照)

協会けんぽ(医療分)の 2023 年度決算見込み

(単位:億円)

		2022 (R4) 年度		2023 (R5) 年度	
		決算	(前年度比)	決算見込み	(前年度比)
収 入	保険料収入 ＜伸び率＞	100,421	(+1,868) ＜1.9%＞	102,998	(+2,577) ＜2.6%＞
	国庫補助等	12,456	(▲7)	12,874	(+418)
	その他	217	(▲47)	233	(+16)
	計 ＜伸び率＞	113,093	(+1,813) ＜1.6%＞	116,104	(+3,011) ＜2.7%＞
支 出	保険給付費 ＜伸び率＞	69,519	(+2,502) ＜3.7%＞	71,512	(+1,993) ＜2.9%＞
	[医療給付費]	[62,723]	(+2,125)	[64,542]	(+1,819)
	[現金給付費]	[6,796]	(+377)	[6,970]	(+174)
	拠出金等 ＜伸び率＞	35,867	(▲1,271) ＜▲3.4%＞	37,224	(+1,358) ＜3.8%＞
	[前期高齢者納付金]	[15,310]	(▲231)	[15,321]	(+11)
	[後期高齢者支援金]	[20,556]	(▲1,039)	[21,903]	(+1,347)
	[退職者給付拠出金]	[1]	(▲0)	[0]	(▲0)
	その他	3,388	(▲746)	2,705	(▲683)
	計 ＜伸び率＞	108,774	(+486) ＜0.4%＞	111,442	(+2,668) ＜2.5%＞
単年度収支差		4,319	(+1,328)	4,662	(+343)
準備金残高		47,414	(+4,319)	52,076	(+4,662)

保 険 料 率	10.00%	(±0.0%)	10.00%	(±0.0%)
---------	--------	---------	--------	---------

賃金の動向

(万円)

	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度
平均標準報酬月額 ＜被保険者1人当たり＞	29.8 (+2.0%)	30.4 (+2.0%)

注) 年度平均の数値

医療費の動向

(万円)

	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度
1人当たり保険給付費 ＜加入者1人当たり＞	17.4 (+4.6%)	18.1 (+4.0%)
(再掲) [1人当たり医療給付費]	[15.7] (+4.4%)	[16.3] (+4.1%)

加入者数等の動向

(万人)

	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度
加 入 者 数	4,001.1 (▲0.8%)	3,956.3 (▲1.1%)
被 保 険 者 数	2,514.9 (+0.1%)	2,515.3 (+0.0%)
扶 養 率	0.591	0.573

注) 年度平均の数値

※ 2023 年度末の準備金残高は保険給付費等に要する費用の 5.95 ヶ月分に相当。

※ 端数整理のため、計数が整合しない場合がある。また、数値については今後の国の決算の状況により変動し得る。